

2023

くらしフェスタ実行委員会から

Vol. 12

武蔵野市くらしフェスタ実行委員会では、毎年、市民の方に知っていただきたい情報を選び提供しています。子供の事故については2012年・2013年・2015年の3度にわたり取り上げていますが、信頼できる情報が公的機関から多数発信されているにもかかわらず、多くの消費者が正しい情報にアクセスしていないのが現状です。

1. 昔の病気ではありません。はしかと梅毒
2. 子供の事故

## 1. 昔の病気ではありません 梅毒とはしか

### ◎梅毒急増中！（東京都福祉保健局の情報から）

- ①性行為で感染する病気の一つです。しっかりした知識を持ち、感染拡大を防ぎましょう。
- ②東京都の感染者は急増しています。特に男性では 20 代から 40 代、女性では 20 代が多くなっています。
- ③症状は、感染した場所にできものができて、それが消えても全身に発疹が出ることがあります。そのままにすると病気はもっと進行します。
- ④症状がある時は、検査を受けましょう。感染拡大を防ぐためにも、早期発見・早期治療が大切です。
- ⑤検査は保健所・検査室で、HIV 検査と同時に、匿名・無料で受けられます。

### ◎強い感染力を持つはしかに注意！

- ・国内各地ではしか（麻疹）の感染が確認されています。
- ・感染力が強く空気感染をする為、予防にはワクチン接種が最も有効とされています。（今年 5 月に感染が確認された東京都の 2 人は、4 月にインドから帰国後発病した茨城県の 1 人と同じ新幹線の車両に乗っていたそうです。）
- ・2001 年には推計 30 万に上るなど流行を繰り返してきたがワクチン接種の強化で激減し、2015 年には WHO から土着ウイルスによる流行が起きていない「麻疹排除国」に認定されていました。2020～22 年はコロナによる国内外を往来する人が減った為、年間報告数は 10 人以下でした。
- ・今年 6 月 14 日には既に 7 人の感染報告がされています。
- ・コロナの 5 類への変更にともない海外との行き来を再開、持ち込み感染の拡大も懸念されています。
- ・はしかワクチンの効果は高く、一回の接種で 95%程度の人が免疫を獲得できますが、時間が経過すると免疫が弱まってかかりやすくなる人もいますので、現在は小児を対象とした定期接種を 1 歳と小学校入学前に 2 回行うことになっています。
- ・日本では定期接種率は低下気味で、1 歳児の接種率は 18 年度 98.5%が 21 年度には 93.5%に、就学前接種率も 18 年度 94.6%から 21 年度は 93.8%になりました。
- ・南アジアや東南アジアなどではまだはしかが流行しています。また日本と同様にワクチン接種率が低下、感染拡大の報告もあります。これらの国との往来が増えることで、日本へのウイルスの持ち込みが心配されています。
- ・このような状況で大人から子供たちに感染が広がる恐れがあるので、定期接種の対象でまだ接種していなければ、接種を出来るだけ早くすることがすすめられます。
- ・1972 年 10 月 1 日から 2000 年 4 月 1 日生まれの人は定期接種を受ける機会があり、自然感染による免疫を持っている人も少なくありませんが、どの世代でも抗体を持っていない人がいます。

### はしかワクチンの接種状況

1972 年 9 月 30 日以前生まれ	・ 1 回も接種していない可能性が高い
1972 年 10 月 1 日～ 2000 年 4 月 1 日生まれ	・ 定期接種としては 1 回接種 ・ (90 年 4 月 2 日～) 流行を受けた特例措置で 2 回接種の人も
2000 年 4 月 2 日以降生まれ	・ 定期接種として 2 回接種

・海外に行く人や、妊娠などでワクチン接種を受けられない人の家族は特に接種の有無を母子健康手帳で確認することが大切です。

・記録が見つからない人は、医療機関で抗体を調べワクチンの追加接種など必要な対策をとりましょう。

・1962年4月2日から1979年4月1日生まれの男性は2024年度まで麻疹・風疹混合ワクチンを無料で受けることもできます。妊娠中の女性が風疹になり、先天性風疹症候群(CRS)の子供が生まれるのを防ぐため国が行なっている対策で、市町村から届いたクーポンを使い医療機関で風疹の抗体検査を受け、風疹の免疫がなかった方が対象になります。

はしかは感染してから約10日後に発熱やせき・鼻水などの症状が現れます。さらに2～3日たつと高熱や発疹が出て、脳炎などをおこし死亡することもあります。発症の前日以降は、同じ室内にいただけで免疫を持たない人にうつすほどの感染力を持っています。

## 2. 子供の事故

行政などの信頼できる情報が、Web や紙媒体でたくさん発信されています。しかし、1歳未満の乳児にハチミツ入りの離乳食を与えた為に赤ちゃんが亡くなるという残念な事例もありました。この場合は以前から母子健康手帳にも記載されていたにもかかわらず防ぐことが出来ませんでした。

車に子供を置き去り死亡させてしまったという例は論外ですが、行政がネットで行なったアンケートでも「子供を車に置いて離れた」例はめずらしくなく、「たまたま大事に至らなかった」と回答が多くみられました。

情報を発信する側は受け手にしっかり情報を伝えられているか常に確かめ、伝える機会を増やすことが望めます。

今回は東京都の生活文化スポーツ局のチラシを紹介したので、ぜひアクセスしてみてください。

### ◎内容紹介

#### ベランダや窓からの子供の転落に注意！

ベランダや窓から子供が転落する痛ましい事故が度々起こっています。ベランダの出入口や窓の開閉が何かと多くなるこの季節、ご家庭のベランダや窓の周りの環境を今一度確認するなど、一層の注意を払いましょう。

#### ヒヤリ・ハット事

◎アンケート調査報告書（裏面参照）より

「子供のベランダからの転落やヒヤリ・ハットを経験したことがある」・・・14.9%

<具体例>

・夫と息子が2人でリビングにいて、夫がスマホを見ている間に息子が一人でベランダに出て椅子にのぼり身を乗り出して駐車場の車を見ていた。（1歳）

・リビングで軽食を食べていたら、子供が施錠されていないベランダのドアを開けて、子供用の軽いイスを持ち出し、そこに立ってのぼろうとしていた。すぐに気づいたので、抱きかかえて部屋に連れ戻した。（3歳）

## 事故を防ぐポイント

### ◎環境の見直し

- ・ベランダの柵の近くにプランター、椅子、テーブル等、足がかりになるものを置かない。
- ・窓際にベッドやソファ等、足がかりになるものを置かない。
- ・ベランダの出入口や窓の、子供の手が届かない場所に補助錠を設置し、施錠する。

### ◎保護者の見守りや子供への教育

- ・ベランダや窓のある部屋に、子供だけにしない。
- ・子供だけを家に残して外出しない。
- ・子供だけでベランダに出さない。子供をベランダで遊ばせない。
- ・子供にベランダや窓などの高い場所からの転落の危険性について日頃から教える。

### ◎注意喚起動画公開中！！

子供がベランダの手すりの高さまで素早くよじのぼる実験映像や、転落事故を防ぐポイントを15秒と1分の2つの動画で紹介しています。ぜひご覧ください！！

STOP！転落事故

[https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/attention/2022/documents/kigai\\_balcony-window202303.html](https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/attention/2022/documents/kigai_balcony-window202303.html)

詳しくはこちらをご覧ください

東京暮らしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp>

### 【参考】

- ① ≪【概要版】ベランダからの子供の転落防止に関するアンケート調査報告書≫東京暮らしWEB

(令和5年3月)

[https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kyougikai/h29/documents/r4\\_balcony\\_survey\\_summary\\_1.pdf](https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kyougikai/h29/documents/r4_balcony_survey_summary_1.pdf)

- ② ≪平成29年度東京都商品等安全対策協議会「子供のベランダからの転落防止のための手すりの安全対策」リーフレット≫東京暮らしWEB(平成30年3月)

[https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kyougikai/h29/documents/29\\_leaflet\\_balcony.pdf](https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kyougikai/h29/documents/29_leaflet_balcony.pdf)

## 2011年からの「くらしフェスタ実行委員会から」のテーマ一覧

2011

- ・食肉の汚染(ハンバーグ)・「ちょっと待って お肉の生食」
- ・家庭でできる食中毒の予防のポイント
- ・放射能のこと
- ・災害用救助工具を知っていますか

2012

- ・気になる元素を探してみよう
- ・知って防ごう 子ども(乳幼児)の事故・高齢者の事故を防ぐために
- ・正しく洗って～毎日きれいな手～
- ・大地震に備える

2013

- ・消費者の五感に染みこんだ 100 年商品
- ・減らない焼き肉の食中毒・生肉の衛生管理が厳しくなっても
- ・コイン電池 子どもの誤飲に注意
- ・化学が作る私たちの生活 くらしを支える化学の力

2014

- ・食中毒の季節 日常の衛生管理の基本は
- ・「ベビーシッター」の事件から考えて
- ・違法ドラッグ(脱法)危険ドラッグってなに
- ・どこが違うかー滅菌 殺菌 除菌 抗菌など

2015

- ・ボタン電池を使用した商品に注意～乳幼児の誤飲により、化学やけどのおそれも
- ・市販薬の副作用で重症化することも！
- ・下水道に油を流さないで

2016

- ・ごま
- ・じゃがいも/お弁当作りの衛生ポイント～食中毒に注意～感染症に注意～
- ・乳幼児のヒヤリハット 誤飲について
- ・新元素「ニホニウム」 記号は Nh
- ・食品安全委員会からの情報～いわゆる「健康食品」に対するメッセージ～

2017

- ・洗濯表示マークを覚えて洗濯上手に！新 JAS 一覧
- ・もったいない！食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう
- ・食中毒を防ぐ3つの原則・6つのポイント
- ・このマーク、一体なに？ピクトグラム

2018

- ・ご存じですか？新しい案内用図記号(ピクトグラム)
- ・ジャガイモによる食中毒を予防するためにできること
- ・消費者問題に関する 2017 年の 10 大項目
- ・Safe Kidsー子どもを事故から守るためにー

2019

- ・熱中症予防の基本は 日陰・風・三度の食事
- ・風疹の抗体はありますか？
- ・新たな JAS 制度と新 JAS マーク
- ・消費者問題に関する 2018 年の 10 大項目
- ・「味噌」を知る

2020

休止

2021

- ・成年年齢引き下げに伴う若者の消費者被害について

2022

- ・「18歳成年年齢の引下げ」について知っておきたいこと
- ・いわゆる「健康食品」について
- ・知って防ごう 子供の事故